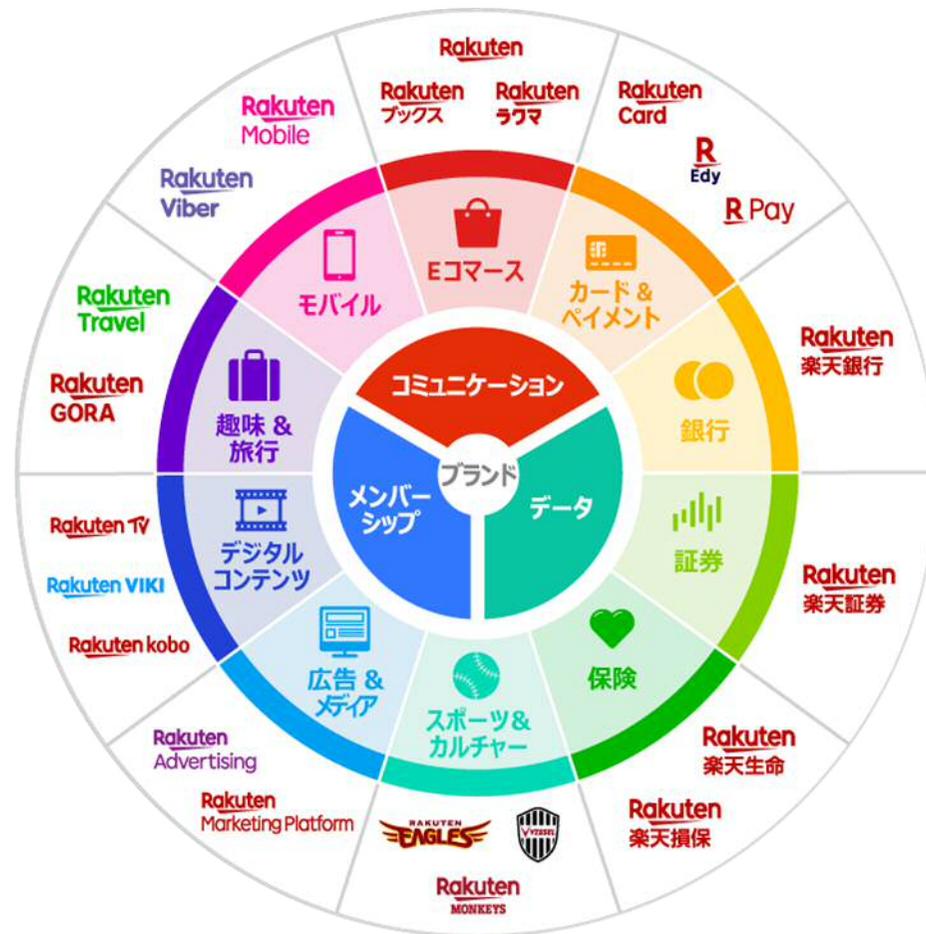


# 楽天グループとの資本・業務提携について

2021年5月20日  
日本郵政株式会社

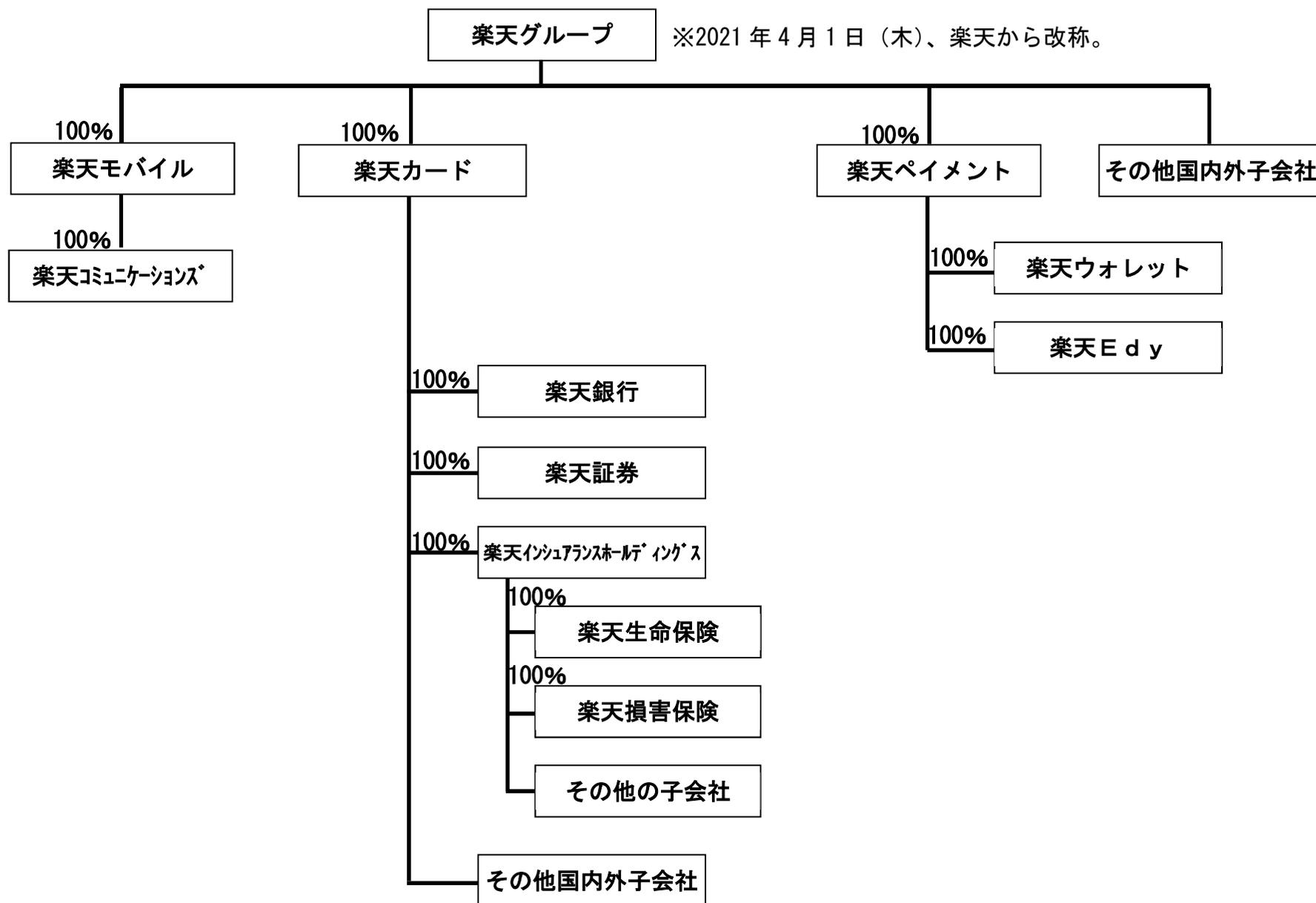
## 1. 楽天グループについて (1) 概要

- 楽天グループは、国内外において、Eコマース、トラベル、デジタルコンテンツなどのインターネットサービス、クレジットカードサービスをはじめ、銀行、証券、電子マネー、スマホアプリ決済といったフィンテック（金融）サービス、携帯キャリア事業などのモバイルサービス、さらにプロスポーツといった多岐にわたる分野で70以上のサービスを提供している。
- また、これらサービスを、楽天会員を中心としたメンバーシップを軸に結び付けることで、他にはない独自の「楽天エコシステム（経済圏）」を形成し、国内外の会員が複数のサービスを回遊的・継続的に利用できる環境を整備することで、会員一人当たりの生涯価値（ライフタイムバリュー）の最大化、顧客獲得コストの最小化等の相乗効果の創出、グループ収益の最大化を目指している。



出典：楽天グループホームページ

# 1. 楽天グループについて (2) グループ構成





## 2. 楽天グループとの資本・業務提携について (2) 概要

- 2021年3月12日、両社グループは、物流、モバイル、DX（デジタルトランスフォーメーション）など様々な領域での業務提携に合意。4月28日、業務提携の進捗状況について報告。
- また、両社グループ間の関係を強化するため、3月29日、日本郵政が楽天に約1,500億円出資（出資比率：8.32%）。今後、楽天グループとの幅広い領域でのさまざまな協業を強力に進める原動力になることを期待。

### 日本郵政グループと楽天グループとの業務提携の概要（2021年4月28日公表）

本日までに両社グループが合意しました業務提携の内容は、以下のとおりです。

#### 物流

- 共同の物流拠点の構築
- 共同の配送システム及び受取サービスの構築
- R F C（楽天フルフィルメントセンター）の利用拡大及び日本郵便のゆうパック等の利用拡大に向けた、日本郵便・楽天両社の協力・取り組み
- 上記取り組みのための日本郵便・楽天の両社が出資する新会社（2. 参照）の設立、物流DXプラットフォームの共同事業化（2021年7月目途）

#### モバイル

- 郵便局内のイベントスペースを活用した楽天モバイルの申込み等カウンターを設置
- 日本郵便の配達網や郵便局ネットワークを活用したマーケティング施策の実施
- 上記取り組みを全国的に実施するための実証実験（郵便局10局程度、2021年5月頃を目途に順次開始）

#### DX

- 日本郵政グループのDX推進のための日本郵政グループと楽天グループの間の人材交流に関する協議・検討
- 楽天グループによる日本郵政グループのDX推進への協力

#### 金融

- 楽天カード（ゆうちょ銀行デザイン）の取扱いの開始（2021年内）に向けた準備
- 楽天カード（ゆうちょ銀行デザイン）の状況を踏まえた、楽天カードの基盤を活用したゆうちょ銀行を発行主体とするクレジットカードに関する協議・検討
- その他のキャッシュレス決済分野等での協業に関する協議・検討
- 保険分野での協業に関する協議・検討

#### EC

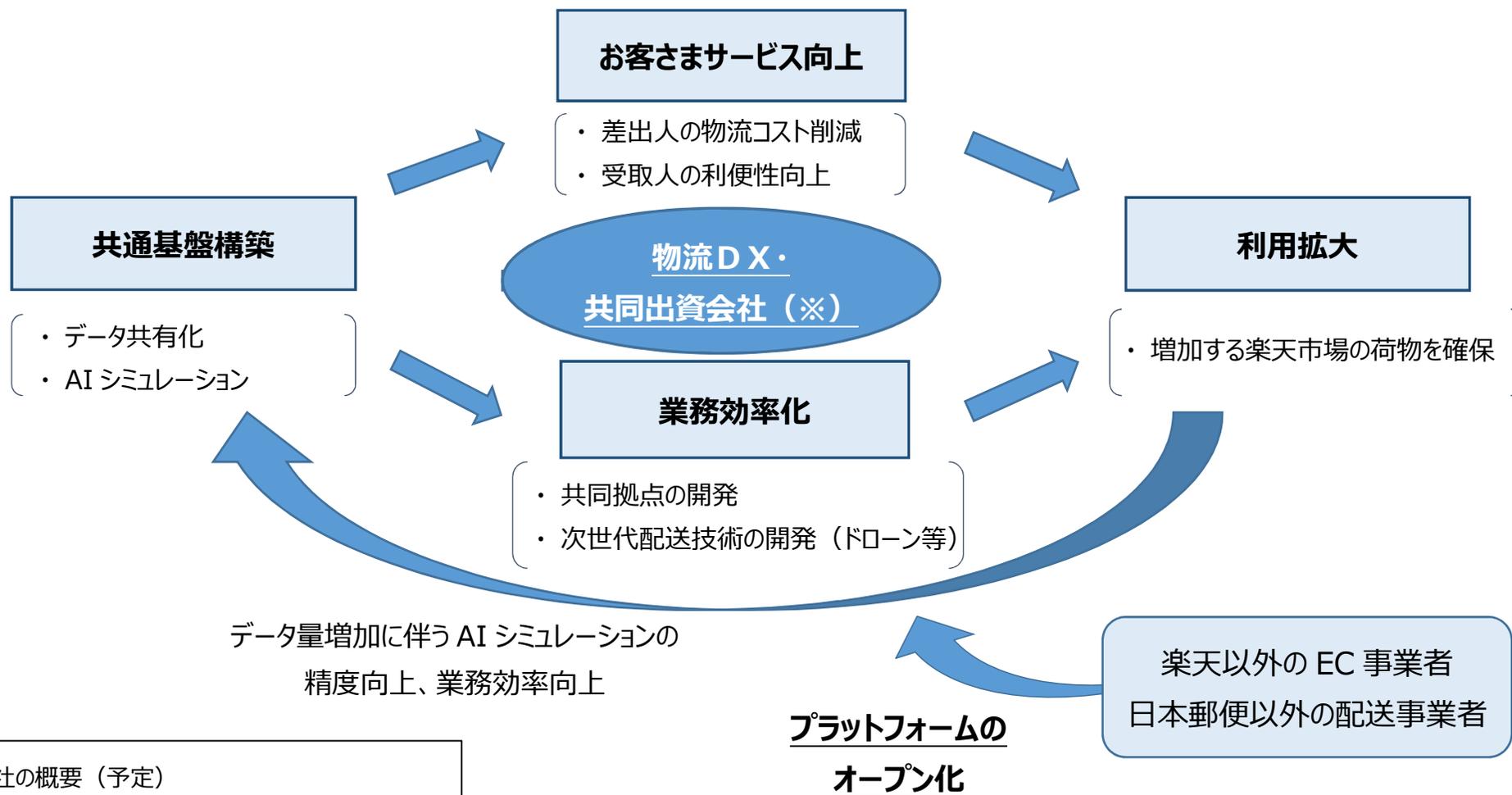
- 楽天が運営するサイト内での日本郵便が取り扱う商品の販売に関する協議・検討
- 郵便局内での楽天市場の販売商品の注文申込みの受付に関する協議・検討

両社グループは、以上のほかにも企業価値の向上に資する戦略的な提携について協議、検討します。

## 2. 楽天グループとの資本・業務提携について (3) 物流領域における業務提携

- 日本郵便・楽天の共同出資による合弁会社を設立して、物流DXを推進。効率的で利便性の高い物流プラットフォームを構築し、将来的には他の事業者も利用できるプラットフォームのオープン化を目指す。
- 日本郵便は、楽天との提携を通じて、増加する楽天市場の荷物を確実に確保しつつ、物流DXの加速を図る。

<物流DXプラットフォームのイメージ図>



(※) 会社の概要 (予定)

- 名称 J P 楽天ロジスティクス株式会社
- 資本金 100 百万円
- 出資比率 日本郵便 50.1%、楽天 49.9%
- 事業内容 ロジスティクス事業